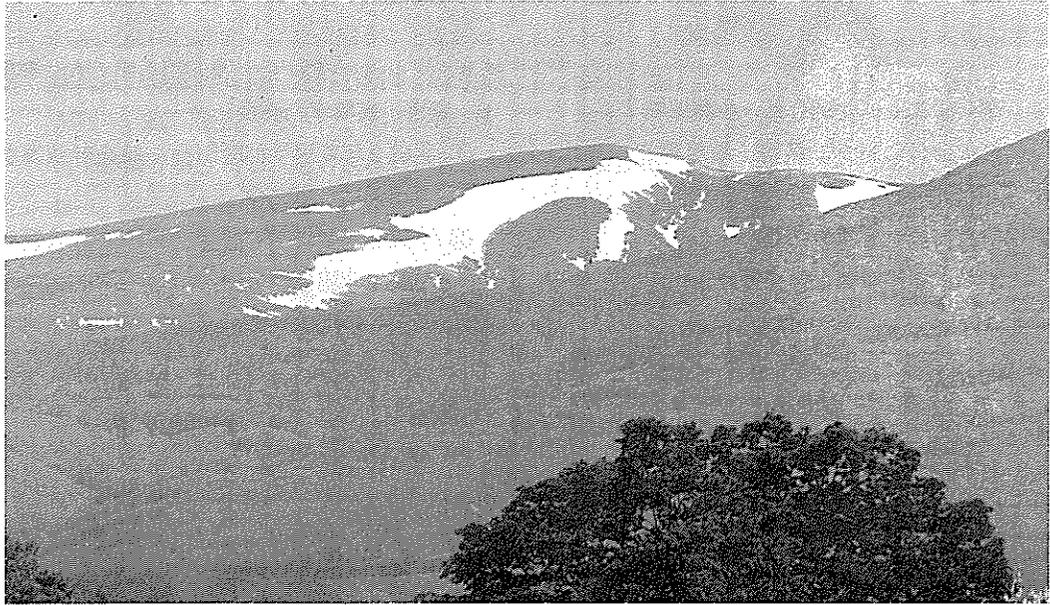


# 岩手郡医報

平成3年7月 No.33  
編集 発行  
岩手郡医師会

題字 雫石町高橋孝先生



雫石から見る駒ヶ岳は雪が消えるにつれて色々の形を表してくれる。駒ヶ岳に因んだ馬の形、これは雫石には馬の顔で、尻は秋田に向いていて、昔から「岩手の草を食い、糞は秋田にするので秋田は米所」と云われている。

その他にこの、「苗取りぢさま」が6月の始めに出るケラを着て前に屈んで苗を取っている姿で、この雪の芸術を見て昔の人は農作業を始める目安にしたことと思います。

(雫石町 高橋 孝)

目 次	
駒ヶ岳.....	1
岩手郡医師会通常総会.....	2
部会報告.....	2~4
県医師会親睦大会のアンケート.....	5
平成2年度一般会計決算書.....	5
平成2年度休祭日当番医決算書.....	6
平成2年度特別会計決算書.....	6
特別講演「私の自然観」高橋喜平氏.....	7
郡医師会理事会.....	7
おらほの先生 葛巻町西島医院の巻.....	8
随想「七雨時山の遭難」高橋 孝.....	9
随想「道」高橋 孝.....	10
新入会員紹介.....	11
夏の風物詩 嶋 信.....	12
編集後記.....	12

# 岩手郡医師会通常総会

日 時 平成3年6月29日 (土) 午後3時より  
場 所 盛岡市盛岡駅前通 ホテルリッチ盛岡

## 次 第

- 司 会 及 川 忠 人 理 事
1. 開会のことば 副会長 佐藤郁郎
  2. 物故会員に対する黙禱 故平野修一先生  
(平成2年6月15日没) に対して
  3. 会長挨拶 高橋牧之介
  4. 議長 和田栄吉 資格確認
  5. 各部会からの報告
    - ① 岩手県医師会代議員会報告 西島康之理事
    - ② 産業医部会 西島康之理事
    - ③ 学校医部会 高橋孝副会長
    - ④ 福祉担当 坂井博毅理事
    - ⑤ 生涯教育委員会 上田靖彦副会長
    - ⑥ 脳卒中情報システム運営委員会 及川忠人理事
    - ⑦ 広報委員会 嶋 信理事
    - ⑧ その他
  6. 議事 高橋孝副会長
    - ① 平成2年度岩手郡医師会一般会計決算書の承認について
    - ② 平成2年度岩手郡医師会休祭日当番医決算書の承認について
    - ③ 平成2年度岩手郡医師会特別会計決算書の承認について
    - ④ 監査報告
  7. その他
  8. 閉会のことば 副会長 上田靖彦
  9. 特別講演 座長 郡医師会長 高橋牧之介  
『私の自然観』  
エッセイスト 高橋 喜平氏
  10. 懇親会

## 部 会 報 告

### ○岩手県医師会代議員会

西 島 康 之 理 事

- (1) 第14回岩手県医師会臨時代議員会が、平成3年6月22日(土) 午後2時より岩手県医師会館で開催されました。岩手郡医師会からは、私と佐々木久夫先生が出席しました。まず、加藤会長のあいさつがあり、その中で病院・診療所等の医療の実態を知ってもらうよう、中医協と話し合いを行っていること。また、病院のベッド数の見直しについてもふれられました。
- (2) 各担当部門別事業の状況について、各担当理事より報告がありました。総務に始まり医事紛争対策委員会まで14の部会より、くわしく報告説明が行われました。この内容については、「いわて医報」に掲載されます。
- (3) つづいて協議に入り、平成4年度岩手県医師会総会の開催は盛岡市医師会が担当することになりました。
- (4) 議事に移り、平成2年度岩手県医師会一般

会計歳入歳出決算、平成2年度岩手県医師会第一グループ保険会計歳入歳出決算に関して議決を求むる件等々が、満場一致で承認されました。

- (5) 次に、岩手県医師会代議員会副議長の選挙があり、水沢医師会の亀井正明先生が立候補し、満場一致で亀井先生に決定しました。代議員会に出席するたびに思うことですが、県医師会長をはじめ、各担当理事の先生方が我々、医師会員のために、自分の時間、自分の身を犠牲にし、努力されていることには、頭が下がる思いです。

○産業医部会

西 島 康 之 理事

- (1) 認定産業医実施研修会が6月15日(土) 花巻市新興製作所で開催されました。ここでは、従業員の健康管理、作業環境の整備、環境汚染対策の優良事業所であったことです。私は都合により出席できませんでした。
- (2) 認定産業医基礎研修会が7月13日(土) に午後2時30分から、県医師会館4階ホールで行われます。奮って参加して下さい。
- (3) 毎年行われている東北6県の医学会総会が福島県で開催されます。また、第14回産業保健学会が9月14日、郡山市で開催されることになっています。今年のテーマは、「職場における心身両面にわたる健康増進、健康確保について」であります。岩手県からは、「THPの現状について」岩手県予防医学協会の今野先生が報告されます。出来るだけ参加して下さい。

○学校医部会

高 橋 孝 副会長

岩手県医師会学校医部会幹事会において、平成3年度学校医部会の事業計画は下記の通りであります。

- (1) 岩手県学校保健、学校医大会の開催、  
(2) 各種検診活動の推進

- (3) 学校関連機関との連携  
(4) 小児成人病対策委員会の設置 (5~6名)  
(5) 児童生徒の今日的問題の検討  
(精神衛生、思春期、スポーツ等)

であり、又主な保健行事は、

H3. 8. 25(日) 第3回東北学校保健、学校医大会 (宮城県)

H3 (期日未定) 平成3年度学校保健講習会 (日医)

H3. 11. 7(土) 第22回全国学校保健、学校医大会 (奈良県)

H4. 1. 19(日) 第9回岩手県学校保健、学校医大会、

以上であります。尚学校医の使命は拡がりつつあります。その1つは、学校の衛生管理にも協力が求められております。特に最近では、集団下痢症の発生等新聞を賑わしておりますが文部省では、①飲料水はどこから来ているのか、②水質の検査が実施されているのか、③未実施の場合は実態調査を行い報告させて、第一責任者でもある施設の設置者が行う衛生管理について、医師が学校医の立場から見てほしいと要望がだされております。又学校医は学校の教職員をはじめ職員の健康管理を行う事になります。新しく産業医はおかない方針のようですが、この学校職員の健康管理については、応分の報酬措置を講じて行くことが望ましいとあり、在来の産業医報酬に準じていいのではとの意見でした。報告事項は以上ですが、常に申し上げておりますが、岩手郡医師会は学校保健活動においては、他市町村に類をみない活動を行っております。それは、岩手郡学校保健会を設立して、この保健会は8ヶ町村の学校保健活動の情報交換の場であったり、又各町村保健会の研鑽の場所として大いに活用されるようになって参りました。それにつけても学校医は検診時のみではなく、その地域において常に学校、教育委員会と連携を保ちつつ、学童一人一人の健康に留意してい

ただきたく思います。したがって、学校医は各町村の病院の先生、又はその地域の開業している先生が出来れば全員が学校医となることが理想と思います。今後このような方向になることと思いますが、只私共は、学校医ではなくても、学校医であっても、日常診療の場で、学童の診療を通して学校保健に関与致しております。最近の学童の疾病、特に精神衛生面での、登校拒否児、又体育関連の整形外科的疾患、あるいは学校伝染病等は、必ず、学校又教育委員会等と連絡をとりながら対処しなければなりません。このようなことを考えるとき、私は地域の医師会員の先生方が、学校医、学校医でないを別として、学校保健会に参加していただきたく思います。このことは過日開催されました岩手郡学校保健会の席上で、各町村の学校保健会に、どうか両者の時間の都合をつけて地域の先生全員によびかけていただきたく参加していただくことを、平成3年度の岩手郡医師会の学校保健医部会の活動の重点目標であることをお話しておきましたので、おさそいがあることと思いますので是非御参加いただきたいものと願っております。その場で、町村全員の先生方と、教育委員会、学校長等との間で学童検診項目の設定、検診結果の分析、事後指導等について検討されまして、それらのデータを持ちより、岩手郡学校保健会の場で講師を交えたり、皆の英知をだしあいながら学童の健康保持、更には増進について話し合いたいと思います。過日の通常総会時に、各先生にお渡し致

しました、平成2年度、「研究紀要」にも、岩手郡学校保健との活動の様子を掲載しておりますが、各町村学校保健会にテーマを設置して、医師側、又養護教諭、学校長、教育委員会との間で学童の健康に関する諸問題について討論、検討されて、それが学校現場に於いて学童の健康保持増進に役立っているものと思います。先生方には御多忙のこととは存じますが、次回は会員全員に通知を出して呼びかけますので、是非ご参加いただきまして討論又は発表に加わっていただきたく存じます。宜敷くお願い致します。

#### ○広報委員会

嶋 信 理事

平成2年度いわて医報編集委員会、郡市医師会広報委員連絡協議会は、平成3年2月7日(木) 医師会館において開催され、この模様は既に「いわて医報3月号」に報告されている通りであり、各郡市に提出されたアンケートについての検討が主であった。この席上例年行われている医報編集委員による移動編集委員会（昨年は紫波郡医師会にて開催）を今秋頃に岩手郡に赴きたい旨の連絡があった。

その他報告は特にありませんが、郡医報の編集に当たっては、できるだけ皆さんの原稿、写真などあれば良いと考えていますので応募をお待ちしています。あて先は、医師会事務所（滝沢村鶴飼 高橋医院）又は、西根町大更 嶋医院まで。



○その他

岩手県医師会親睦各種大会に関するアンケート調査結果集計表

項 目 大会名	従 来 通 り	同 好 会 扱 い	廃 止 す る	そ の 他
野 球 大 会	12郡市医師会	2郡市医師会		1郡市医師会
ゴ ル フ 大 会	11郡市医師会	3郡市医師会		1郡市医師会
釣 り 大 会	4郡市医師会	11郡市医師会		
囲 碁 大 会	3郡市医師会	12郡市医師会		
ス キ ー 大 会	3郡市医師会	11郡市医師会	1郡市医師会	
医 家 芸 術 展	7郡市医師会	7郡市医師会	1郡市医師会	

平成2年度・一般会計決算書

自 平成2年4月1日  
至 平成3年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《1》収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
	円	円	
繰越金	40,000	1,276,082	前年度より繰越し
会費	4,640,000	4,333,000	A会員 95,000×37人=3,515,000円 B会員 35,000×21人= 735,000円 B会員中途入脱会 5人= 83,000円
補助金	85,000	83,000	地域医療 28,000円 学校医 55,000円
雑収入	5,000	114,906	預金利息
合 計	4,770,000	5,836,988	

《2》支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
[事業費]	[4,110,000]	[3,262,273]	
会議費	1,500,000	1,941,258	総 会 (2回) 984,829円 理 事 会 (5回) 609,739円 役 員 会 (2回) 295,969円 県医総会費 50,721円 医学講演会 373,955円
生涯教育費	550,000	373,955	
地域保健	400,000	0	
広報発行	450,000	258,157	印 刷 費 (3回) 236,797円 発 送 費 (3回) 21,360円
旅 費	320,000	250,000	
交際費	650,000	134,323	
慶弔見舞金	60,000	94,700	
広告費	80,000	117,380	
雑費	50,000	42,500	
予備費	50,000	50,000	
[事務費]	[660,000]	[364,413]	
事務費	660,000	364,413	事務連絡費 8,516円 通 信 費 50,723円 消 耗 品 費 75,253円 リ ー ス 料 109,200円 事務処理費 120,000円 雑 費 721円
合 計	4,770,000	3,626,686	
次期繰越金	-	2,210,302	収入金額5,836,988円-支出金額3,626,686円

## 平成2年度・休祭日当番医決算書

自 平成2年4月1日  
至 平成3年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

## 《1》 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
繰越金	1,000	2,711,080	前年度より繰越
補助金	3,504,000	3,594,000	
雑収入	5,000	0	
合 計	3,510,000	6,305,080	

## 《2》 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
報償費	2,620,000	2,101,101	健康教育費 880,000円 県医野球大会 333,787円 県医ゴルフ大会 25,515円 学校保健会 190,000円 合同研修費 570,279円 厚生対策費 101,520円
需要費	350,000	140,924	会議費 63,000円 通信・消耗品費 77,924円
旅費	300,000	281,790	
役務費	90,000	0	
予備費	150,000	5,000	
合 計	3,510,000	2,528,815	
次期繰越金	-	3,776,265	収入金額6,305,080円－支出金額2,528,815円

## 平成2年度・特別会計決算書

自 平成2年4月1日  
至 平成3年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

収入の部	金 額	摘 要
	円	
繰越金	4,443,524	前年度より繰越
岩手県医師会	1,243,600	県民健康講座負担金他
県予防医学協会	131,000	検診立会医依頼事務手数料
県医師信用組合	216,000	事務委託費
県医師国保組合	118,000	支部交付金他
雑収入	35,208	預金利息・指定医更新審査手数料
合 計	6,187,332	
支出の部	金 額	摘 要
	円	
郡学校保健会	200,000	補助金
岩手医学会	244,000	会員会費分
東北銀行	721	振込手数料(岩手医学会へ)
合 計	444,721	
次期繰越金	5,742,611	収入 6,187,332－支出 444,721

平成3年6月29日

岩手郡医師会長

高橋 牧之介 殿

監事

佐々木 久夫

篠村 達雅

## ○監査報告書

平成2年度岩手郡医師会一般会計決算書、休祭日当番医決算書、特別会計決算書のそれぞれについて、慎重に監査いたしましたところ、その収支は適正妥当なるものと認めます。

特別講演

エッセイスト

## 『私の自然観』

高橋喜平氏



高橋喜平氏

本日の講師の高橋喜平氏は、和賀郡沢内村太田の出身であり、旧制黒沢尻中学の第1回卒業生で、国立林業試験場勤務（昭和49年退職）時代より「雪崩の研究」で、名を世界に知らせた方であり、最近ではエッセイストとして多数のエッセイを世に発表し、著書も多数ある。また、写真家としても著名で、自然を写した写真の数々は、今までも数回の写真展を開催している。明治43年生まれ81才とは思えない若さを持っている。話し初めの冒頭にも会場近くのマンションより歩いてくる途中、中学生か高校生の男女が手をつないで歩いているのを見て、うらやましく思うという。こんなことから常に気持ち

は、15～16才位のつもりでありたいと願っているという。

また、中学校在学当時は、女性と話をすることが停学の対象であった。自分は黒中の停学第一号であるという。というのは、女生徒より電話があり、それが学校にばれて、1週間の停学処分になったという。今では到底考えられないことでもある。と往時をふり返って現代をうらやましいと思う気持ちこそ若さの秘訣かもしれない。現在世界雪氷学会の会員でもあるが、「雪氷辞典」にフルネームで名前のでているのは、日本では中谷宇吉郎氏と高橋喜平氏の2人だけであるという。中谷氏は「実験室で雪の結晶を作った人」であり、自分は「雪崩の研究について」が認められたものである。

雪崩には2種類あり、一つは地表全部が滑落する場合で、もう一つは上の部分だけが滑るものがある。

また、雪崩の研究中に積雪量を測定する「積雪計」を発明し、これが当時の世界雪氷学会の会長に認められ、全世界で紹介されたことは誠にうれしかった。

その他「山の神様」についても研究したが、これが仲々奥が深くてむずかしい。現在も尚研究続行中である。

以上のような内容の話が紹介され、自分の郷里のことや研究の一端を話しながら、最近特に興味を覚えてさがし求めている東北の民話や文学（例えば夜這いの話など）について話してくれた。これについては著書の一部を参考にされると尚詳細がわかることでしょう。

これからのますますの御壮健を御祈りします。

## 岩手郡医師会理事会

日 時 平成3年6月18日(火) 午後6時30分

場 所 岩手県医師会館 第3会議室

出席者

高橋牧之介 佐藤郁郎 上田靖彦 高橋孝  
西島康之 坂井博毅 佐渡豊 瓜田明義  
嶋 信 及川忠人 八角正司 根本忠夫  
上原充郎

報告・連絡事項

- 1・第43回岩手県医師会総会並びに第86回岩手医学会（春季）総会
- 2・第4回（平成3年度）健康スポーツ医学講習会の受講者募集について
- 3・岩手県医師会親睦各種大会について
- 4・社会保険医療等に関すること

5・県立中央病院の週休2日制について

6・岩手県医師会通常総会等について（6月29日開催）

7・第43回岩手県医師会親睦野球大会（8月25日開催）について

8・その他

議 事

1・平成2年度一般会計決算書の承認について  
2・平成2年度休祭日当番医会計決算書の承認について

3・平成2年度特別会計決算書の承認について

4・その他

懇 親 会

## おらほの先生

院長は昭和9年4月12日生まれの57才。

病院に居る時は特に厳しい先生。常に私達看護婦には「看護婦という立派な資格を持った人は電話の交換手の様な事をやってはいけない。仕事をする時には神経をそこに集中しなさい。又、どんな場にたたされても今自分が何をすべきかを考えなさい。その事により何事に対してもあわてる事はない、平常心になれる。」いつも言われる先生の言葉です。しかし一旦診療から離れると職員と何でも話してくれる先生でもあります。ある時誰かが院長の座右銘は？と尋ねた事があります。先生いわく「自分はこれという座右銘は持たずに過ごしてきた。改めて座右銘はと問われて考えてみると、はたと思われる言葉がある。老子にある『知足不褥知止不殆』で足を知れば褥められず止まるを知れば殆うからずやの8文字である。自分を戒める処世訓にしているのだが、思い出した時はいつもいい時ではないような気がする。」と苦笑していました。

院長の趣味は、もう趣味を通り越していると思われる農業博士なみの農業(?)である。野菜はもとより、イチゴ・リンゴ等無農薬で作れ食べきれない程の収穫で患者さんや職員で試食させてもらう事もしばしばあります。

医師会の仕事で盛岡に行き、夜中の1時、2時に帰ってきても日の出と共に起き出し農作業をしたり、夜中の1時頃に「明朝は霜が降りそうだ。」と言って電燈を手に畑を見回ったり、夕方は、よくこんなに真暗くても見えるものだと思うく

## 葛巻町 西島医院の巻

らいまで農作業にいそしんでいます。植物は「愛情をかけたくらいそのまま反応してくれる。植物は人間より正直である。」と院長は笑いながら話していました。又、「65才になったら医者をやめ農業指導員をやろうかな」と冗談を言っています。又、スポーツは上手かどうかわかりませんがなんでも好きなようです。特に葛巻高校野球部に対しての熱の入れようは大変なものです。又、カラオケも得意(?)で自分の進歩を強調している昨今です。

院長のスケジュールは診察・往診・医大非常勤講師・医師会役員・葛巻高校クラブ振興会会長・葛巻八幡宮・秋葉神社の総代長・その他超が付く程過密で体をこわすのではないかと私達は心配するほどハードなものです。そして、今年から社会保険審査委員・葛巻ライオンズクラブ会長にもなり、ますます忙しくなりました。患者さんや職員ばかりでなく、先生自身の健康にも十分注意していただきたいと思います。

(職員一同)



## 随想

## 七時雨山の遭難

雫石町 高橋 孝

平成3年3月11日の岩手日報の朝刊に盛岡の銀行員の方が遭難したと報じられた。七時雨山とは何と美しい名前の山だろうと思ひ、各地の景勝地を訪ねる看護婦に七時雨山について聞いてみたら、山と言うよりは丘の様な所だとのこと。又、元の町役場観光課長で山登りの好きな友人から聞くと、いつも霧がかかっている様な所で、天候が変わりやすい所の様に思うとのことでした。時雨は「過る」から来た言葉で通り雨の意味で、秋の末から初冬にかけてふったりやんだりする雨をさしている。俳句では初冬の季語であり、涙を流すこともしぐれと言ひ、又、芭蕉が10月12日に没したので季節にちなんで芭蕉忌、時雨忌と呼んでいる。この美しい名前がどんな所から出たのか西根町史を取りよせて調べてみた。語源については国丈、佛教等色々の学者の説があるようで、流霞、流霏、流霞（霞はバク、こさめ、しぐれの意）等で霏、霞は私共が持っている漢和辞典には載っていない字であり、未だ定説はないようだが、ナガシグレと読み、七時雨はその訛りとのことである。美しい地名である。

私のイメージとしては、松、杉等の緑の針葉樹の中に紅葉が入り混り、薄く霧に被われて七色の虹が常に観られる様な丘を思わせる。時雨について万葉集を調べてみたら、30首の歌が詠まれており、その中の音仮名は最も多いのは「四具礼」が12首、「鐘礼」が9首、「之具礼」が3首、「志具礼」が2首、他「思具礼」「此具礼」「為暮」「斯具礼」が各一首であった。色づいた草木の葉の色を時雨色と言う様に、歌の内容も時雨と紅葉とを詠んだ歌が19首もあり、相聞歌が9首でその他が2首であった。この様に時雨と紅葉が古来より深い関係があり、訪ねたこともないが今は開発が進んでいると聞く。西根町史によると秋田城を急襲したエゾを鎮圧するために2千人の兵が胆沢城からこの七時雨を通

り鹿角を經由して秋田に入ったとの事。今は西根町音頭にも歌われているように、恋のハイクは、恋のハイクは七時雨山というように景色の良い丘のようだが、往時は今にも増して紅葉のきれいな土地だったろうと思われる。因にわが雫石町にも名所、景色の良い所が八ヶ所あり、雫石八景と言われ各々句が添えられている。

- (1)「広養寺（上寺）の晩鐘」山畑におとつれ  
伝ふいりあいの、鐘を聞きつつ帰る人々。
- (2)「岩鷲（岩手山）の残雪」岩鷲の高根に残る雪の面、夏の暑さを忘る涼しさ
- (3)「御所（元御所から繫に）の帰帆」軽々と走りし舟や水の面、帆懸けて帰る御所の村人
- (4)「籬野の月」幾人もおなし詠満籬野の、月の光りぞ照り渡るらむ
- (5)「恵照山（中寺）の納涼」恵照なる山の台なりに登り来て、暑さ忘るる夏の涼風
- (6)「姥屋敷（小岩井農場から岩手山に向かう途中）の落雁」名にしおふ姥屋敷に訪ね来て、四方の音つれ落る雁かね
- (7)「駒木野の雨」万々と草葉に伝う駒木野の雨の景色ぞ詠め尽きせず
- (8)「舟原沢（46号線沿いの田沢湖に向い橋場部落に入る手前の左対岸）の紅葉」秋風の染め舟原の山紅葉、龍田にまさる錦なるらん。

以上八景を安政6年に雫石八景として選定したものです。(1)(3)(6)は各々を今は見聞きする事が出来ませんが、御所湖あり、鷲宿温泉、玄武洞、鳥越の滝、スキー場、地熱発電、等々の名所も出来ております。又、1993年には、アジアで初めて世界アルペンスキー選手権大会が開かれる町です。8月25日の岩手県医師会野球大会には会員の先生方大勢で是非雫石町においで下さい。尚、冒頭の遭難者は無事救出されました。

# 随想

# 道

栗石町 高橋 孝

年二回位神戸市より、日展審査員経験者級の「かな書道」の大御所が盛岡市に来て錬成会が1泊2日位で開催される。わたしは泊まりはしないが一日だけはこの会に出席する様に努めております。細字であれば縦37cm、横49cm位の全懐紙3枚半に歌20首位を書いて一つの作品にしますが、今年も錬成会があり参加した。順番が来て添削を受けたが、自分の書いた作品がみるみるうちに添削の朱で真赤になって行く。一ヶ所として褒められる所がなかったが、3枚目に入ったときに「センセこの作品は一日で書いたんやないヤロ」と言われる。普通は数時間かけて一度で書きあげるのだが、あるいは2回に分けてかきあげた作品だったかも知れない。「ここが大変ヨー出来テル」「前の方とは全く別のきびしい線がヨウでている。この線ヤ、この線ヤデ」「この部分を書いた時の気分を忘れんといて、いつもこの気分で書くんヤ」神戸弁で捲したてる。良く書けた、良く書けている時の気分、気分を忘れるなど言われても思い出す事も出来ないし。又いつもその気分で書けと言われても不可能のように思う。只、今日は日曜日でも何も行事がない。今日は書くぞと思ったときには良い作品が書けたことがない。当番医で患者さんの来る合間を利用して書いたのが、良い作品であったりする。このようなことから考えるとあまり意識せずに所謂平常心が大切の様思う。町内の射撃をなさっている上原先生と話してみたことがあるが、その日のうちで午前と、午後で全く命中率が違うことがあると言う。射撃は天候等自然現象に左右されることもあると思いますが、先生もやはりそのときの色々な気持ち、気分を動かす要因がその成績に大きく関わっていると思うと言われ、良い状態を作り出すことは

大変に難しいと言っておられましたし、熊谷薬品の高橋さんは釣りをなさる方で、釣りにも、今後プロができて賞金が出て、ゴルフ並みの競技があると言う。やはり自然現象、雨、風、川の水量等に左右されるだろうが、この平常心と言う最もベターな気持、精神状態を作る事が大切だと話しておられた。私は書を書くときに何かあまり意識をしないうちに自分を遠くから見ている様な気分の時、自分を忘れてる様なとき、あるいは今筆がどこを走っているか解らない様なときに割に良く書けている様に思うが、そんな時は殆どないし、もしその様な気持ち、気分が一刻あったとしてもそれは偶然に出来たものにすぎないように思う。「道」の意味を見ると、目的地に至る途中、又人として守るべき道理、とある。

書道、剣道は勿論、撃道、ゴルフ道、釣道すべての道は弾が標的に命中したときの気分、ドライバーが良く飛んだり、パターがうまくでき、スコアが延びた時の気分、雨でも風でも自然現象が悪くても、良く魚が釣れたときの気分、この気分、又は精神状態を思いだせたり、又どの様な環境のもとでも作れるように修業しながら最終目的地に至る途中で我々は居続ける事と思う。

私共が忘れてならないのは医道ですが、これは道の第2の意味の医者として守るべき道理を考えながらやはり修業をしながら、最終目的地に至る途中で勉強し続けなければならないと思います。

今テレビが、夏場所の千秋楽での小錦、旭富士戦の同点決勝が終わった。きっと彼等もこの道を歩いていることと思います。

新入会員紹介

◎氏 名 三 善 悟先生（八角病院）  
 年 令 60才（昭和6年6月3日生）  
 出身地 宮古市鍛ヶ崎、道又医院の五男として出生  
 出身校 盛岡中学・盛岡高校（現在の盛岡一高）  
 岩大工学部を経て岩手医科大学（昭和31年卒業）

専門科目 産婦人科  
 職 歴 昭和32年4月～昭和41年1月迄盛岡赤十字病院産婦人科に勤務  
 昭和41年2月～平成3年3月迄盛岡市西青山2-18-4で三善産婦人科医院開業

平成3年4月より八角病院に勤務  
 趣 味 ゴルフ（HC.14）  
 野球（昨年まで盛岡市医師会チームの監督）  
 クラシック音楽（ショパンのピアノ曲特にアシュケナーズ、ポリニーの弾いたものなら終日聞いていても良い。）  
 酒のんでカラオケも好きです。

〔ひとこと〕 今までの経験を生かし、地域医療に尽力したいと思います。  
 ただ専門外の患者が殆どで六十の手習いです。モットーである初心にもどって先生方の御指導を仰ぐ積もりです。  
 よろしく御願ひ申し上げます。

◎氏 名 畠山敬一郎先生（畠山内科クリニック）  
 年 令 昭和25年10月8日生（40才）  
 出身地 秋田県  
 出身校 福島県立医科大学  
 診療科目 内科  
 開業時期 平成3年5月7日、西根町に開業  
 趣 味 読書、ドライブ

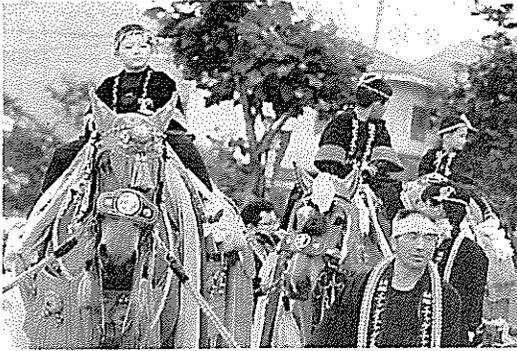
〔ひとこと〕 私は東大安田講堂事件の時に、北海道大学に入学しコンピューターエンジニアを目指しました。電子工学科を卒業し就職もしたのですが、若気のいたりで平穏な日常生活が満ち足りなく、もう一度人生をやり直してみたいと思い医学部を受験したのです。北大4年、サラリーマン4年計8年の寄り道をした若輩者ですが宜しくお願ひします。

◎氏 名 成 島 忠 勝先生（東八幡平病院）  
 年 令 65才  
 出身地 盛岡市  
 出身校 岩手医学専門学校  
 診療科目 内科  
 勤務時期 平成3年4月1日より  
 趣 味 庭いじり、プロ野球テレビの観賞

◎氏 名 宇 部 健 治先生（国保西根病院）  
 年 令 27才  
 出身地 久慈市  
 出身校 自治医科大学  
 診療科目 内科  
 勤務時期 平成3年4月1日より  
 趣 味 読書

◎氏 名 大川原、真澄先生（滝沢中央病院）  
 年 令 34才  
 出身地 茨城県  
 出身校 岩手医科大学  
 診療科目 内科  
 勤務時期 平成3年4月1日より

## 夏の風物詩



チャグチャグ馬コ（滝沢村にて）

盛岡の初夏の風物詩として、全国的にも親しまれている国の無形民族文化財「チャグチャグ馬コ」は、田植えも終わり、例年好天に恵まれて、6月15日（土）滝沢村蒼前神社から盛岡市

西根町 嶋 信

の盛岡八幡宮までの15キロの道のりを色とりどりの装束に身を包み、昨年と同数の102頭の参加をみて、鈴の音も高らかに行進が行われた。沿道には朝早くから待ちこがれているお年よりの方々が多数みうけられた。

安全を考え、今年からコースを一部変更し、前九年町への踏切りを避けて、天昌寺交差点から国道46号線に出るコースとなり、盛岡市内を巡回し、午後1時20分頃中津川河原で休憩をとったあと、2時15分に盛岡八幡宮に到着する。朝早くからの準備、とりくみであるため、馬上の子供達はコックリ、コックリ居眠りする子供もいる。

### 編集後記

- 郡医師会通常総会には、特別講演として地元のエッセイスト高橋喜平氏をお迎えしてお話しをいただきましたが、80才とは思えないくらい元気に活躍している様子が話の中でも伺えました。弟さんもドクターとのこと、健康にはことのほか心配りしているためでしょう。
  - われわれの県医師会親睦野球大会も担当郡医師会として近々に（8月25日、雫石町當野球場を中心に開催）せまって参りましたが、今回の参加申し込みは21チームで、一回戦の組合せも決まり、当医師会チームの第1戦は、県立中央病院Bチームと決定。地元多数の応援よろしく願います。会場は町営鶯宿グラウンドA（鶯宿温泉の入り口付近）です。
- 好天に恵まれればいなゝとそればかりが気懸りです。

- 「おらほの先生」には、葛巻町の西島先生に登場していただきました。いつも感じることは、毎日多忙な先生の姿を見て、職員の心配りは、「いつも健やか」であってほしいとの願いが一般的です。お互いに「健康」には注意しましょうと教えられるようです。
- 雫石町の高橋孝先生には今回も素晴らしい「随想」を投稿していただきましてありがとうございます。これからもふだんの思いつくままを書きとめて、まとめていただきたいものと思います。（M.S 記）